

## 授業料不徴収協定に基づく派遣交換留学 終了報告書

所属(本学)	工学院 機械系 機械コース		
現在の学年	修士 1 年		
留学先国	デンマーク	留学先大学	デンマーク工科大学
留学期間	2017 年 9 月 04 日～2018 年 05 月 30 日		

### ① 留学先大学(機関)の概略

デンマークでは最も著名な理工系大学。首都コペンハーゲンからは電車バスで 40 分程度。修士課程の授業は英語で開講されており、現地の人も流暢な英語を話している。

### ② 留学前の準備

留学期間半年だと、帰国してから就職活動や研究活動の期間が短くなるため、卒業を一年遅らせて、一年間留学することに決めた。また、奨学金の関係上、座学だけでなく、研究やインターンなどの実地活動が必須であったため、研究室の准教授から知り合いの教授を紹介してもらい、メールにてその教授とアポイントをとった。向こうの研究室所属の承諾が得られてから、デンマーク工科大学へ留学することを決め、手続きを開始した。注意事項としては、向こうの大学の受け入れ許可のメールが迷惑メールに入ってしまったため、向こうの大学へ手続きの書類などを提出したら、迷惑メールのボックスもこまめにチェックしたほうが良い。

### ③ 留学中の勉学・研究

もともと研究活動をメインで留学しようとしたため、授業は一つしかとらなかった。研究活動は自分が東工大にて行っている研究とは分野の面では同じであったが、細分化してみるとそこまでかわりはないものであった。日々のスケジュールとしては、だいたい 10 時から 17 時くらいまでのコアタイムで活動していた。フレキシブルなためその日に応じて変更も可能であった。ただ、日本だと修士課程の学生は自らの研究テーマをもち活動しているが、留学中はドクターの研究の手伝いが主であった。

また授業に関してだが、だいたい筆記試験か口頭試験の二つに分かれており、シラバスのようなもので細かく評価方法まで書いてあるのでしっかり読んで決めたほうが良い。私は、口頭試験を今まで受けたことがなかったため、口頭試験の授業を取った。結果としてはそこまでよくはなかったが、口頭試験はいい経験になったと思う

### ④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

デンマークに留学していたため、EU 圏内の国への移動手段が、バス、鉄道、飛行機、船と豊富であり、休みを見つけたら旅行をしていた。特に留学先は土日や祝日など、休みを大切に守っていたため、突然の休日出勤はなく計画は立てやすかった。

### ⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

まず一人暮らしが初めてであったため、一通りの家事をマスターできたのは大きな経験となった。特にデンマークは物価が高いため、しっかりと切り詰めて生活しなければならなかったため、逆にその環境が成長を促してくれた。

また、携帯水没や、パソコンの故障などいろいろな事件はあったが、その度に、寮の人たちに助けを求めたり、電話してお問い合わせなどの日本では当たり前の行動を海外にて経験できたのは大きかった。

### ⑥ 留学費用

渡航費は往復で 20 万いくかいかないくらいであり、家賃は一か月 6 万くらいであった。また敷金礼金のようなもので 13 万くらいかかるので、航空券と合わせて初期費用はかなり掛かっ

た。奨学金はトビタテを受給しており月 16 万ほどはいていた。だいたい月 10 万いかないくらいの生活費がかかっていた。

⑦ 留学先での住居

キャンパスビレッジという寮に住んでいた。メンバーはセメスターごとに半分くらい入れ替わっていた。私が住んでいたところは特に大きな住民トラブルはなかったが、共有スペースが多いため、トラブルの原因となることが多そうだった。

⑧ 留学先での語学状況

すべて英語でのコミュニケーションであった。現地語のデンマーク語は列車の行き先など最低限しか覚えなかった。

⑨ 単位認定(互換)、在学期間

単位認定を行う予定はない。

⑩ 就職活動

インターンへの応募をデンマーク留学中に行っていた。人によってはスカイプでの面談などを行っていた。

⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

特になし。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

留学期間は自分の未来設計と合わせて熟考する必要があるが、留学するかしないかで迷っているなら、半年でもいいと思うのでぜひ挑戦しよう。